

放射性セシウムの追加的放出量 (Bq/h)

平成30年12月25日
福島県原子力安全対策課

東京電力では、1～4号機原子炉建屋からの現時点の放出量（セシウム）を、原子炉建屋上部等の空气中放射性物質濃度（ダスト濃度）を基に評価しています。

11月に実施された評価は下表のとおり、1～4号機の放出量の合計で、 1.6×10^4 Bq/h 未満であり、前月と同様に放出管理の目標値（ 1.0×10^7 Bq/h）を下回っていることを確認しています。なお、これによる敷地境界における被ばく線量は年間 0.00022 mSv 未満と評価しています。

平成30年11月の状況

原子炉建屋	ダスト採取場所	セシウム 134 (Bq/cm ³)	セシウム 137 (Bq/cm ³)	追加的放出量の 評価値 (Bq/h)	備考
1号機	原子炉直上部北西側	ND (検出限界 9.2×10^{-8})	ND (検出限界 9.5×10^{-8})	1.7×10^2 未満	前月は 2.1×10^3 Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 1.4×10^{-6})	ND (検出限界 1.3×10^{-6})		
2号機 2重扉閉塞前 作業期間外	ブローアウトパネル 排気設備入口	3.0×10^{-7}	2.8×10^{-6}	3.5×10^3 未満	前月は 1.4×10^4 Bq/h 未満 2重扉閉塞前作業期間外
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 1.2×10^{-6})	ND (検出限界 1.3×10^{-6})		
2号機 残置物撤去 作業期間中	ブローアウトパネル 排気設備入口	4.6×10^{-6}	4.5×10^{-5}	2.6×10^4 未満	3.9×10^5 Bq/h 未満 2重扉閉塞前ウエル上作業
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 1.2×10^{-6})	ND (検出限界 1.3×10^{-6})		

2号機 オペフロ調査 期間中	ブローアウトパネル 排気設備入口	9.5×10^{-6}	9.5×10^{-5}	5.1×10^4 未満	4.3×10^3 Bq/h 未満 2重扉閉塞後作業期間外
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 1.2×10^{-6})	ND (検出限界 1.3×10^{-6})		3.7×10^5 Bq/h 未満 2重扉閉塞後北西作業
3号機	原子炉直上部南西	6.0×10^{-7}	5.4×10^{-6}	9.0×10^3 未満	前月は 1.7×10^4 Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 1.5×10^{-6})	1.2×10^{-6}		
	燃料取出し用 カバー隙間 排気設備入口	ND (検出限界 1.0×10^{-7})	2.2×10^{-7}		
	燃料取出し用 カバー隙間 排気設備出口	ND (検出限界 1.0×10^{-7})	ND (検出限界 7.1×10^{-8})		
4号機	燃料取出し用 カバー隙間上部	ND (検出限界 1.3×10^{-7})	ND (検出限界 9.2×10^{-8})	1.2×10^3 未満	前月は 1.2×10^3 Bq/h 未満
計				1.6×10^4 未満	前月は 1.3×10^5 Bq/h 未満

(問い合わせ先 024-521-7255)